

上期分区郡別セミナー第 2 回

## C ゾーン職業奉仕セミナー報告書

地区職業奉仕委員会  
委員長 海寶勘一  
C ゾーン担当  
委員 梅原正一

地区職業奉仕委員会は今年度のテーマを【職業奉仕の精神を学び合いロータリアンの心を輝かせよう】とし、職業奉仕の精神とは何か、もう一度勉強し、理解して頂き、ロータリー活動とは何かを見直すきっかけ、ヒントになって頂けたらと思いきセミナーを開催致しました。

第 2 回 C ゾーン (第 3B+4+5 分区・20RC) 職業奉仕セミナーを 10 月 12 日 (土) かずさアカデミア・ホールで開催。C ゾーン参加クラブは 19 クラブであり、総勢 33 名の出席を頂きました。セミナーの冒頭に、参加者全員による「四つのテスト」の唱和が行われ、海寶勘一委員長より、セミナー開催趣旨説明が行われました。



第一部では【職業奉仕の精神を学び合いロータリアンの心を輝かせよう】をテーマにロータリーの源流の会 (田中毅会長) が作成したパワーポイント (PPT) を参考に今回のセミナーのために地区委員が再編集をしたものを使用しました。職業奉仕の理念はアーサー・フレデリック・シェルドンの考え方を理解することに始まり、ロータリアンは標準クラブ定款第 8 条の職業分類によって選ばれて入会していることを再確認しました。このことは他クラブにはない入会資格であり、職業奉仕がその象徴です。ロータリーの綱領(目的)第 2 項目を良

く理解することがロータリアンの役目であり、職業人としてのクラブライフを一層有意義にすることができる至宝だと確信できました。

第二部のテーブルディスカッションでは「【最もよく奉仕をするもの、最も多く報いられる】という職業奉仕の理念と実践についてどう思われますか?」・「あなたもクラブも職業奉仕に関して、どんな取組をしていますか?」の二つのテーマについてディスカッションし、自由闊達な意見交換が行なわれ、会員相互の意見交換が如何に、クラブや会員を活性させる基礎を築くか改めて感じました。

各テーブルからの発表では「職業奉仕について再認識できた」「社会奉仕との違いを理解できた」「他の会員が職業に取組む姿勢、四つのテストを仕事にどう応用しているか」「他クラブの職業奉仕活動や考え方」等クラブ内では議論できない有意義な時間を過ごすことができたという意見が多くを占めました。

最後に第 2680 地区深川純一 PDG の職業奉仕に関する言葉を引用させて頂きたいと思えます。「職業奉仕」という言葉は、「職業」すなわち金を儲けることであり、「奉仕」すなわち世のため人のために尽くすことです。つまり、ロータリーの職業奉仕とは、「職業を営むこと (金を儲けること) が、世のため人のための奉仕となる」と言っているのです。この問題を理解するために、職業を営む心 (金を儲ける心) も奉仕の心 (世のため人のために尽くす心) も同じ一つの心であると思ってください。そして、この一つの心とは、すなわち「世のため人のために奉仕をする心を持って職業を営

むべし」と考えます。この言葉は何を意味しているのかというと、それは自分の金儲けに対して「人を泣かせるような金儲けをしてはいけない、人をだまして金儲けをしてもいけない、非道徳的、非社会的行為をして金儲けをしてはいけない、世のため人のためになるような金儲けをしなければならない」と言っているのであり、自分の職業に対して強く「倫理性」を要求しているのです。ロータリーの標語は「I serve」です。奉仕は個人の職業倫理において、奉仕の心を職業社会に実践するものです。クラブはその集合体であり、ロータリークラブとしての職業奉仕の実践機能はなく、団体奉仕という概念はありません。ロータリーライフとはその週 1 回例会に出席し、卓話を聞き、心が磨かれ職業倫理を身に着けるのです。そして、自分の職業で実践し、業界、世の中に広めるのがロータリー運動だと思います。

セミナーにご参加頂きましたこと大変ありがとうございました。



A テーブル発表  
君津 RC 佐谷秀世会員



B テーブル発表  
市原中央 RC 谷川安男会員



C テーブル発表  
千葉北 RC 曾根伸一郎会員



D テーブル発表  
木更津東 RC 青木和義会員



E テーブル発表  
上総 RC 鳥井正俊会員